

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 310 回 研究会

日 時 平成 29 年 3 月 15 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 30 分

場 所 奈良中央信用金庫 3 階 ホール

講 師 奈良県中小企業診断士会
会長 森 昭彦 氏

テーマ 経営力向上
「良い会社・良い事業・良い事業計画」

今回の研究会は、奈良県中小企業診断士会の会長を務めておられます森昭彦氏を講師にお招きしまして、経営力向上「良い会社・良い事業・良い事業計画」をテーマに公的補助金に採択されるための組織づくりについて、ご講義を頂きました。

講義は良い会社づくりから始まりました。経営者が目指すべき姿である「良い会社」は、良質の人間関係が生み出す本質的な E S（従業員満足）を質の高い仕事と個の成長につなぎ、それによって高まった C S（顧客満足）を売上や利益の向上に結びつけていきます。更には、生み出された利益を従業員への報酬・社会貢献・将来に向けた投資に注ぎ込み、より高い E S を生み出していく、そんな好循環の仕組みを構築します。そのためには、近江商人という企業よし・顧客よし・社会よしの「三方よし」を本気で実践する意志が不可欠です。

続いて、補助金に採択されるポイントについて講義は進みました。補助金に採択されるためには、事業計画が重要です。事業計画は事業の成功可能性を高めるために重要であり、①計画の可視化②事業内容の整合性③不足している経営資源の把握④外部支援者への説明に有効であります。事業計画の評価ポイントは「独自性・革新性」「必然性」「実現可能性」です。そして、各補助金の公募要領をよく読み込み審査基準を把握し、公募要領に沿った申請書を作成することが重要です。公募要領には、技術面、事業化面、政策面等で実施主体が求める事業ビジョンが審査基準として示されています。公募要領の審査基準に対する内容を必ず盛り込むことが採択のポイントとなります。

国が進める成長戦略により、平成 29 年度も多くの補助金や助成金の公募が予定されています。今回の講義を参考にして、良い会社づくりを実践し、経営力の向上を図り、各種補助金に挑戦頂ければ幸いです。

以 上

